

ご家庭で手軽に生ごみダイエット! ベランダたい肥づくりの手引き



「ベランダたい肥」とは

市内から集められた「せん定枝」と、市内学校や保育園の給食の食べ残しなどの生ごみを混ぜ合わせて作られた「たい肥の素」に家庭から出た生ごみを投入すると、バクテリアの働きで生ごみが分解・消失します。

この仕組みを利用して、ご家庭のベランダ等で気軽に生ごみ減量に取り組めるよう、立川市がたい肥の素を市民の皆様に向けて無償で配布しています。

燃やせるごみの減量に向け、ぜひ「ベランダたい肥」づくりにチャレンジしてみてください！

「ベランダたい肥」のお申込み・お問合せ先
立川市ごみ対策課 042-523-2111 内線6748

1.必要なもの

たい肥の素とケースは無償で提供できます。
その他必要なものはホームセンター等でご購入ください。

市が無償提供するもの	ご自身で用意するもの
<p>①容器 ごみとして出された衣装ケース等をリユースしたものを無償で提供します。又は、ご家庭のベランダ等に応じたケース等をご自身でご用意ください。</p> <p>②たい肥の素 ご自宅に衣装ケース等に入れた状態でお届けします。 容器が不要な方には袋に入れた状態でお届けします。</p>	<p>①シャベル(園芸用) 生ごみを入れたり、たい肥の素をかき混ぜたりする際に使います</p> <p>②寒冷紗(かんれいしゃ) 防虫のために使います。園芸用のものでOKです。</p> <p>③保温用の古毛布等 寒い時期用に用意します。</p>

2.ベランダたい肥づくりのやり方

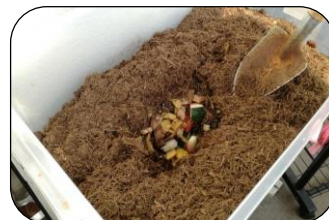
①たい肥の素が入ったケースをベランダ等にセットします。

・日当たりが良く、屋根がある場所が好ましい。



②ご家庭で出た生ごみを入れます。

・少し穴を掘って入れるとよい。入れ過ぎに注意。



③できれば毎日(少なくとも2日に1回)、

全体をよくかき混ぜて空気を含ませます。

・バクテリアの働きを活性化させるため。

・生ごみが表出しないようにすると分解が早い。



④数日で生ごみが分解され、消失します。

フタの使い方

日中はフタを外して空気に触れさせてください。
フタは雨水や夜露を防ぐ際にご使用ください。



3.成功のコツ

①処理できる生ごみの種類

- ・人が噛み砕けるものであれば処理できます。
- ・細かく刻んだり、茹でて柔らかくしたほうが分解がスムーズです。

適しているもの	野菜や果物の皮・へた・芯、コーヒーのかす、茶殻、肉類、残飯など カレー、ソース、ドレッシングの残りなどもそのままOK
刻んだり茹でたりしたほうがよいもの	そのままでは大きいもの、堅めのもの 等
適していないもの	骨類、貝殻、タネ など(人が咀嚼できないもの)

②生ごみの入れ過ぎに注意

生ごみを入れ過ぎると分解が追い付かなくなり、臭いや羽虫の発生原因になります。かき混ぜる際に生ごみの状況を確認しながら、適度な量を入れてください。

③適度な湿度を保つこと

バクテリアは少し湿った状態で活性化しますが、水分が多いと活動が低下します。生ごみから水分が出るので、表面が乾燥していても底に水が溜まる場合があります。底からしっかり混ぜ、底まで乾燥している場合は水を足してください。

④雨水に注意

適度な水分は必要ですが、雨水の侵入は避けてください。

⑤羽虫の発生対策

時期によっては羽虫が発生する可能性があります。寒冷紗で覆うなどの対策を心がけましょう。



寒冷紗などで覆うとGood!

⑥時期

生ごみ処理能力が高いのは3月から10月頃までです。外気温が低くなる11月から2月の「休眠期」に入れるものはお茶がら程度にして、1~2週間に1回程度かき混ぜてください。

⑦使用可能期間後の処理

たい肥の素は完熟すると生ごみの分解が難しくなります。完熟後はプランターの土等に混ぜて利用するなどしてください。新しいたい肥の素を希望される方はご連絡ください。

⑧異物混入に注意 爪楊枝、ビニールなどは分解できません。

●たい肥の素ができるまで

立川市では、ごみ減量の取組として、市内の各家庭から「せん定枝」を収集し、学校や保育園から出た食べ残しなどの生ごみと混ぜ合わせ「たい肥の素」をつくっています。その一部を「ベランダたい肥」として市民の皆様に無料で配布しています。



●燃やせるごみの減量にご協力いただきありがとうございます。

立川市では、平成19年度の燃やせるごみ排出量を基準として、平成36年度までに「燃やせるごみ50%減量」を達成することを目標に「ごみを発生させない(REDUCE)」「ものを再使用する(REUSE)」などの2Rを意識した行動を推奨し「未来へつなごうごみをつくらないライフスタイル」を呼びかけています。

ベランダたい肥づくりを通して、目標達成に向けた生ごみの減量にご協力をお願いいたします。

